

平成 24 年度第 2 回習志野市長長期計画審議会 会議概要

日 時：平成 25 年 2 月 15 日（金曜） 10 時 00 分から 12 時 15 分まで

場 所：習志野市 仮庁舎 3 階大会議室

委員出席者：大島委員（会長）、斉藤委員（副会長）、関委員、伊藤委員、小川委員
真船委員、金子委員、鯨井委員、小宮委員、海寶委員、越智委員、小池委員
（欠席：細川委員 廣田委員 大塚委員）

事務局出席者：宮本市長、島田副市長、諏訪企画政策部長、井澤企画政策部次長
竹田企画政策課長、越川係長、中野主査、柴垣主任主事、三井主事

- 議 題：1・諮問書手交
2・市長あいさつ
3・習志野市基本構想（案）について概要説明
4・諮問に係る審議
5・その他

議 事 録：

会長	<p style="text-align: center;"><u>開 会</u></p> <p>只今から、平成 24 年度第 2 回習志野市長長期計画審議会を開催致します。本審議会は、習志野市長長期計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は 12 名の出席を頂いておりますので、本審議会は成立致しております。</p> <p>また、会議に先立ちまして、本審議会の公開・非公開につきましては、平成 17 年度第 1 回長期計画審議会において、原則公開と決したところであり、本日の傍聴者は 4 名となりましたので、ご承知おき下さい。</p> <p>では、傍聴者の入室を許可致しますので、案内を宜しくお願い致します。傍聴者の皆様におかれましては、会議を傍聴するにあたり、注意事項を守ることをお願い致します。</p> <p>次に、本日の議事録の署名につきましては、N委員とF委員をお願い致します。</p> <p>それでは、次第に沿いまして、会を進めてまいります。次第の「1」でございます。皆様もご承知おきの通り、現在、本市の長期計画を市で作成して頂いている所ですが、この度、その一部である、基本構想（案）が作成されたとのことで、市長より、本審議会に対し諮問をする旨、連絡がありました。</p> <p>では、事務局の方より、お願い致します。</p>
企画政策課長	<p style="text-align: center;"><u>諮問書手交</u></p> <p>はい、それでは、諮問書の手交についてでございます。</p> <p>只今、会長よりご案内がありました通り、市としてまとめた基本構想（案）につきまして、本審議会へ市長より、諮問させて頂くものでございま</p>

平成 24 年度第 2 回習志野市長長期計画審議会 会議概要

<p>企画政策 部長</p>	<p>す。 それでは、早速ではございますが、市長より諮問させて頂きたいと思いま す。市長と企画政策部長は、会長のお席の前まで移動をお願いしたいと思いま す。</p>
<p>企画政策 部長</p>	<p>それでは、文を読上げさせていただきます。</p> <p>「習志野市 長期計画審議会 会長 大島 茂様 習志野市長 宮本泰介 習志野市長長期計画審議会条例 第 2 条の規定により、習志野市基本構想 (案) について、貴審議会の意見を求めます。」</p>
<p>市長</p>	<p>宜しくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>責任を持って、答申させていただきます。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>ありがとうございました。 これから数度にわたりまして、意見交換をさせて頂き、本基本構想 (案) について答申を頂戴したいと思っております。宜しくお願い申し上げます。 以上、諮問書の手交でございました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 只今、市長より、本審議会に基本構想 (案) についての諮問がなされまし た。責任を持って、本案について審議をし、答申したいと思えます。 では、次第の「2」に移ります。本日は市長にご出席頂いておりますの で、ご挨拶を頂戴したいと思えます。</p>
<p>市長</p>	<p style="text-align: center;"><u>市長あいさつ</u></p> <p>皆様、おはようございます。 本日は平成 24 年度第 2 回長期計画審議会にご出席を頂きまして誠にあり がとうございます。 今回、基本構想 (案) について諮問をさせて頂きました。 皆様方に置かれましては、議会の代表者、各種団体の代表者、学識経験 者、そして公募委員という事で、この習志野市の長きにわたる計画に欠かせ ない皆様でございます。 今回の諮問案件は、基本構想 (案) についてでございますが、これまで、 平成 13 年から、現基本構想に基づき、まちづくりを進めてきたわけであり</p>

ますが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災、或いは経済情勢が大きく変わった事から、次期の基本構想を前倒して作成し、市制施行 60 年周年にあたる平成 26 年度を初年度とした基本構想の中でまちづくりを行っていかうというものでございます。それに際しまして、今年は、現行基本構想の集大成という事にもなるかと思っております。

この基本構想（案）の策定に当たりまして、平成 24 年 2 月から私をトップと致します策定本部会議を開き、庁内で会議を重ねてまいりました。

この中では、10,000 人に対する市民意識調査、そして、無作為抽出による公募で委員を選出して半年間にわたり開催した市民会議、そして、市内 3 カ所で未来の習志野市についてまちづくりの提案を伺ったまちづくり提案会を実施、開催いたしました。この 3 つの機会をもって、市民の皆様から、今後の習志野市の方向性、或いはあるべき姿についてご意見を頂戴しました。

このような中で、私が今回提案をする一つの大きな課題という事の中で、スローガンがございますが、昨今の経済情勢、また、最近、海外において多数の日本人が悲惨な事件に巻き込まれ、命を落としました。このような状況、或いは昨今の情報化社会の進展が及ぼす便利で多様化という事の中で、便利な反面、混乱という事もこれから起きてくるであろうという事を見据えた時に、これからますます混沌としてくる世の中、或いは経済情勢も好転と言うよりも、最低持続可能、いわゆる現状維持、或いは下がっていくのではないかと、このような予測が立っている中で、やはり人間のもともとの心情、そもそもの心である「やさしさ」というものをしっかりとここで位置付けた方が良くと考え、将来の都市像として、「未来のために やさしさでつながるまち 習志野」とさせて頂いているものでございます。

「未来のために」というのは、そのまま、未来のために、未来永劫、これから私たちの子どもが、孫が、それより先の皆さんが、それぞれ最低限、私たちの今と同じような生活ができるようにしていく、という事の「未来のために」であります。

そして、「やさしさでつながる」という事につきましては、昨今の世の中において、いわゆる眉間にしわを寄せて怒るというような事が多くなってまいりました。しかし、そのような感情の下では、物事の解決は話し合いと言うよりは、暴力や武力を引き起こしてしまう、或いは、戦争にも繋がってしまうという事も今の時代は考えなければならないのではないかと感じます。こういう事の中で「やさしさでつながる」という事を一つのキーワードにして、人間が元来持っているやさしさ、これで習志野市は繋がっていかうとい

	<p>う事で、「未来のために やさしきでつながるまち 習志野」とさせて頂いた限りでございます。</p> <p>いずれにしても、習志野市は千葉県内の面積で考えると、たったの 0.4%しかありません。しかしながら、その中に 16 万人の人口が住んでおられて、千葉県内で人口密度は 3 番目に高いまちでございます。つまりは、繋がろうと思えば、しっかりと結束できるまちであって、その結束してきた歴史、伝統的な力が、小さい習志野にありながら、日本一と言う様な事柄がたくさんあるまちであると、この特性というものを、しっかりと私は繋いでいかなければならないと思っております。本日諮問させていただきました基本構想（案）について皆様方より忌憚のないご意見を出して頂き、本当に固いきずなで結束し、一つの方向性に向かって行ける習志野市を創っていきたいと思っております。皆様のご意見を賜りたくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。宜しくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>どうも、ありがとうございました。大変、熱のこもったメッセージかと思えます。</p> <p>市長はこの後、公務のため退席なさいますので、ご承知おき下さい。</p>
<p>市長</p>	<p>宜しくお願い致します。</p>
<p>会長</p>	<p>では、続きまして、次第の「3 習志野市基本構想（案）について概要説明」です。</p> <p>かなりの時間を要すると伺っております。従いまして、本日は 12 時を目途に終了という事に致しておりますので、質疑応答に多くの時間をつくれなにかと思えますが、本日は説明という事で、足りない分は来月以降に本格的に審議して頂くという予定を、ご承知おき頂きたいと思えます。</p> <p>それでは、お願い致します。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>それでは、只今、諮問致しました、基本構想（案）につきまして、本日、お配りを致しました資料に基づいて、事務局の方で、パワーポイントを使って、ご説明を申し上げたいと思えます。</p> <p style="text-align: center;">説明「習志野市基本構想（案）について概要説明」</p> <p style="text-align: center;">【資料 3 に基づき、事務局より説明。】</p>

平成 24 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>長い時間、ご説明ありがとうございました。</p> <p>只今、諮問されました、基本構想（案）の概要について、まず、基本構想とは何か、といった基礎的な所から、策定にかかる背景、そして内容と、順次、大変わかりやすい説明をして頂いたかと思えます。</p> <p>皆様、事前配布されている基本構想（案）と、只今の概要説明の中で、質問、意見、感想がありましたら、お願いしたいと思えます。</p> <p>本日は、12 時 10 分ぐらいまで時間を取り、自由に意見を出して頂くという事で、また、詳しいことは時間を取って、次回の審議会で詰めるという形にしたいと思えます。</p> <p>前は、皆様から思い描いていらっしゃる将来像について出して頂きましたが、今回は事前に配布された素案について、ご意見等を出して頂きたいと思えます。</p>
<p>C 委員</p>	<p>事前に配られました習志野市長期計画基本構想（案）について、意見を述べさせて頂きたいと思えます。</p> <p>まず、3 頁のスローガンについてですが、将来都市像のスローガン、「やさしさでつながるまち」、他者に対するやさしさと思いやりを持ち、という事で、未来の習志野市がやさしさと思いやりに満ち溢れたまちを目指すという事ですが、基本構想体系の 7 頁から 14 頁の中で将来像を説明する 3 つの目標として、まちづくりの方向性が記載されているのですが、スローガンを強調するような施策との繋がりが、あまりにも薄すぎるという印象を受けました。</p> <p>スローガンに沿ったまちづくりの方向性に、もう少し厚みを増す政策を記すべきだなと思いました。もしくは思い切って、将来都市像のスローガンをもう一度考え直した方が良いのではないかなというような感じを受けました。</p> <p>2 つ目は、スローガンの「未来のためにやさしさでつながるまち 習志野」の 3 頁の下にある文章ですが、最後の行段に「このような考えのもと、今、習志野市が目指すべき姿を、未来のために やさしさでつながるまち 習志野 と決めました」とありますが、最初の行の「本市は市制施行以来、」から始まっていますが、そこからの文章に、この「このような考えのもと、」というのが、あまりにも繋がらなさ過ぎて、どうしてこのような最後の文章になってしまうのかなと、ちょっと薄すぎるような感じがしました。</p> <p>例えば、東日本大震災を経験して、共助の必要性を再確認したとか、いじめや児童の虐待、もしくは両親・高齢者を尊敬する心が薄れたとか、あとは外国人住民登録の増加傾向や、孤独死の現状とか、そういったような現状が</p>

	<p>あって、「やさしさでつながるまち」という事があるのならわかるのですが、上段から最後のまとめの「このような考えのもと、」ということが、あまりにも繋がらなさ過ぎるなという印象を受けました。</p> <p>3 つ目が、「未来のために」と、同じ 3 頁ですが、2 段落目の「また、様々な施策は、市民生活を維持するものであるとともに、将来世代の市民とも負担を分かち合うものであることから、その負担を考慮し、持続可能な行財政運営を目指していくことも重要です。」という事は、結局、何を言いたいのかがよくわからなく、市民も負担をするべきなのか、将来世代も市民負担をしてもらいたいというか、それとも将来世代に負担をかけないような行財政運営をしていきたいのか、その辺の文章がよく理解できなかったなというところがあります。</p> <p>同じく、最後の「そこで、将来世代へ豊かさを受け継ぎ、発展させ「未来のために」施策を展開していきます。」となっていますが、いきなりこういうような文章が来ても、あまり説得力というか、どういう想いで未来のために市長が考えているのかというのが、文章が薄すぎるような感じを受けました。</p> <p>続きまして、4 頁ですが、「やさしさでつながる」についてですが、まちづくりのスローガンであるにもかかわらず、文章に、市長の想いがちょっと説得力というか、訴えかけるものがなさ過ぎるような感じを受けました。ちょっと雑駁すぎるなという印象を受けました。</p> <p>先程も話しましたが、東日本大震災を経験して、隣近所、地域とのつながりの重要性を認識したとか、本来、人間の幸せは人と人のつながりの中で生まれてくるものであるとか、人は決して一人では生きていけないにもかかわらずとか、更には、言葉や経済競争による自己責任時代の中、ストレスで鬱病が増える現状であるとか、そういったような、もう少し「やさしさでつながる」という部分の、表現を加えないと、これだけだと市民の方が見て、どうして「やさしさでつながるまち」を目指しているのかなというのが、ちょっと伝わらないような感じを受けました。</p> <p>あと、5 頁ですが、図の上の文章にあります、2 段落目の「この基本構想期間中において、後期高齢者の激増と生産年齢人口の確保及び年少人口の減少に対応するための施策を展開します。」と書かれているのですが、おそらく市民が見て、なぜ自治体経営として習志野市は後期高齢者の激増に対応する施策を展開しなければいけないのか、ということを明記したり、なぜ自治体経営として習志野市は生産年齢の人口確保に対する施策を展開しなければいけないのかをしっかりと明記し、また、なぜ自治体経営として習志野市は年少人口の減少に対する施策を展開しなければいけないのかを、目的と意義をやっぱり明文化しないと、いきなりここがきてしまっても、たぶん恐らく、</p>
--	---

<p>会長</p>	<p>習志野市の自治体経営の想いっていうのはわからないのではないかなと思います。</p> <p>私たちは議員なので、この文章を見てわかるのですが、ちょっと市民の人にとってはわからないのではないかなと思います。</p> <p>6 頁ですが、6 頁の「自然との共生空間」についてですが、最後の段落の「これら緑の拠点を、都市空間を構成する上での重要な自然環境として位置づけ、災害時における防災上の役割にも配慮しながらその規模と連続性を確保し「緑のネットワーク」の形成を目指すとともに、」とあるが、どういうことを表現したいのか意味がよく分からないので市長の想いというか、執行部の狙いを聞かせて下さい。</p> <p>他の方達のご意見も聞きたいので、一旦ここまでとさせていただきます。</p> <p>大変丁寧にご指摘を頂いたかと思いますが、まずは、考え方と言いますか、将来都市像として「未来のために やさしさでつながるまち 習志野」をスローガンに掲げ、3 つの目標があり、更にそれらを下支えするものがあるという事で、7 頁に書かれていますが、そこの所についての基本的な所について、C 委員のお考えはどうなのでしょう。</p> <p>まずは、そういう大まかな考え方について問題点を挙げて頂き、それを検討した後に、より良い、一般の方たちに訴えかける、繋がりやすい、伝えやすいような表現を検討していくという事の方が、よりスムーズにいくような気がします。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>本日は、基本的に皆様からご意見、ご感想を含めて頂く場にしたいと思っておりますが、まず一つ、大前提で申し上げておきたいのは、この資料 1 と資料 2 でございますが、資料 1 の方が、肝心、要の「基本構想」という事でございまして、資料 2 の方が「序論」という形になっています。ただこれが、実際に冊子として製本される時には、順番が逆転を致します。資料 2 のほうが、まず序論として前文のような形で、前に掲載をします。</p> <p>今、C 委員から繋がりが薄いとか、わかりづらいというお話がありましたが、序論の部分が前に来まして、まず現状という部分について、しっかりと申し上げた上で基本構想に入っていくという流れになってまいりますので、その辺を少し、ご理解を頂ければと思っております。</p> <p>ただ、ご指摘頂きました内容が薄い、繋がりが弱いという点については十分検討してまいりたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>C 委員は 7 頁の大きな捉え方、考え方という所での疑問点という事ではいかがでしょうか。</p>

<p>C 委員</p>	<p>そうですね、7 頁以降ですが、11 頁の「自然と調和する環境づくりの推進」について書かれていますが、この第 3 節は「安全・安心「快適なまち」」から外して、将来の都市像を実現する 4 つ目の目標に加える方が適切ではないかなと思いました。</p> <p>それは、文教住宅都市憲章を継続するという事が大前提でまちづくりが進められるのであれば、むしろ、「自然と調和する環境づくりの推進」というのは、重点目標の一番上でも良いのではないのかなと、私は思いました。文教住宅都市憲章の文面を見ると、やはり習志野市は自然を大切にしていくことが教育にも繋がるし、生活向上にも繋がるという事なので、私は「自然と調和する環境づくりの推進」は重点目標の一つにしたら良いのではないかなと、私は思いました。</p> <p>あと、大きな部分であれば、思ったことは、15 頁の将来の都市像を実現するための自立的都市経営において、重点プロジェクトという事で、「協働型社会の構築」を 3 つ目に置いているのですが、私が議会質問する中では、そんなに習志野市は協働型社会に今後、力を入れていくという印象はありませんでした。むしろ、これは 12 年間やってきましたので、これは継続という事で、今後、市民が求めているのは、志ある公務員、教員の人材育成で、想像力ある豊かな職員を育成することが、自立的都市経営に繋がっていくのではないかなということで、人材育成に力を入れていく事が、私は良いのではないのかなと感じました。</p> <p>最後もう一個、「やさしさでつながる」という割には、障がい者福祉に関するところの文面が、ちょっと薄いのではないのかなという思いがします。</p> <p>市長は、障がい者施策に関して理解があると思うので、教育の部分であったり、就労の部分で、もう少し、障がい者に対するやさしさっていう部分を加えた方が、もし、スローガンを生かすのであれば、加筆した方が良いのではないかなと、私は思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>C 委員は、大元に掲げてある将来都市像については、いかがですか。あるいは別にアピールするような表現があるのではないかという事に関しては。</p>
<p>C 委員</p>	<p>そうですね。スローガンに関しては、もう一度練り直した方が良いのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>言わんとしている事は理解して頂けるという事で宜しいですか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>まちづくりの想いはわかるのですが、その施策に関するものが、商工振興</p>

<p>会長</p>	<p>であったり、都市基盤であったりという事にすごく印象があるので、ちょっと将来に向かって習志野市が「やさしさでつながるまち」という割には、ちょっと体系が少し薄いのではないかなと。</p> <p>むしろ、賑わいのある習志野とか、そんなような印象を。ちょっと、「やさしさでつながるまち」という割には、体系以降、私自身としては感じなかった部分があります。</p> <p>一応、先程の説明では、現行基本構想が、個々人に重きを置いたような形で、個人が自分の自由な想いを実現していけるような、そういった方向性を考えていたという事で、それは良いですが、ここ数年の震災だとか、社会の流れの中で、そういった事だけでは、将来、立ち行かなくなる所が出てきたのではないかなという事から、おもしろい、やさしさという事が出てきたというように思うのですが。その辺の流れについては、ご賛同は頂けるのでしょうか。</p>
<p>C委員</p>	<p>繰り返しになりますが、もう少し、中身をもう一度練り直し、「やさしさでつながるまち」を他の委員さんがどう思われているかはわかりませんが、インパクトのあるまちづくりの方向性にした方が良いのではないかなと感じました。</p> <p>3つの目標がありますが、これが4つでも良いのではないかと。「自然と調和する環境づくりの推進」を、もっと強調した方が良いのではないかなと思います。</p> <p>あとは、下支えの所で、「協働型社会の構築」という事がありますが、ここは結構、充実しているので、重点プロジェクトという事ではなく、それよりも、人材育成という部分をもっと表現した方が良いのではないかなという事です。</p>
<p>会長</p>	<p>他の方々はいかがでしょう。</p>
<p>H委員</p>	<p>資料を事前に送って頂いて、じっくり読ませて頂きました。前回の基本構想の時からすると、構成が大分変わるという事のようにして、それはそれで結構じゃないかと思いました。</p> <p>それで、今、スローガンのお話が出ましたが、私は、この「未来のために」という、この「ために」というのがちょっとひっかかりまして。</p> <p>何とかのために、ということであれば、それは当然、“市民のために”であって、何か変だなと。「未来に向けて」とか、「明日に向けて」とか、そういうもうちょっと柔らかい事ならわかるけれども、「未来の」というの</p>

	<p>は何か変だなという事がありました。</p> <p>今、概要をご説明頂いて、全体の概要が良くわかるのですが、翻ってこの資料を見せて頂いて、これは典型的な役所の文章ですので、非常に、文法におかしなところがあったりとか、或いは造語があったりとか、非常にわかりにくいですね、この文章は。</p> <p>これは要するに、市政推進の大元になるものですから、誰が読んでもわかるような文章にすることが、まず、必要ですから、これは、このままでいくと無理だと思うのです。</p> <p>新聞と言うのは、中学生が読んでもわかるように書いてあると言いますが、中学生は無理かも知れませんが、その程度のレベルでもすっと入って行けるような表現をする必要があると思います。</p> <p>一例を言いますと、3 頁の「未来のために」とありますが、この「また、」という段落があって、これはもし私が書くとすれば、「また、様々な施策は、現在の市民生活を維持するものであるとともに、将来世代の市民にも効果を及ぼすものであることから、世代間の負担を考慮し、持続可能な行財政運営を目指していくことが必要です。」、このように私だったら直します。ちょっと無理だなという箇所が随分ありましてね。本日は、ちょっと違うという事ですので、次回以降、申し上げていきたいなと思います。</p>
会長	<p>そういう事でしたら、ご指摘という事で挙げて頂ければ。赤を入れて頂いて、そういったコメント等を提出して頂ければ、作業もスムーズに入れると思います。</p>
H委員	<p>H委員の方は、基本的な考え方ということについては、いかがでしょうか。</p>
H委員	<p>基本構想の構想等は大体大きな流れとしては、これで結構だと思います。</p>
会長	<p>他の方々はいかがでしょう。この 7 頁について、大枠をまずは考えてみましょうという事で、ここに焦点を当ててもらっていますが。その所でお考えをお持ちでしたら、指摘して頂ければと思います。</p>
G委員	<p>私が拝見した限りでは、基本構想は 12 年間の長期にわたりますので、表現としてはかなり、大まかな、漠然とした表現になるのは止むを得ないと思います。言っている事は、割合に妥当な内容ではないかと私は考えます。</p> <p>個々の文章の表現は別として、全体的にはよくまとまっているのではないかと考えておりますが、一つだけですね、この中で重点プロジェクトにもあります「公共施設の再生」と「財政健全化」。この 2 つは大きな関連性があ</p>

	<p>るわけですが、この「公共施設の再生」は、言う事は易しいですが、なかなか難しいです。この辺をどうやって行政が取り進めていくか、これが私は大いに期待をしている所でございます。</p> <p>もう一つは、昔の長期計画審議会の報告の中で、人口が一時、16 万人を割るというデータの時期がありました。一応、人口が増えるという傾向になったという事は、大変嬉しい事でございますが、この人口構成を見ますと、高齢化社会で子育て世代が少ないという傾向を、どうこれを克服していくかという積極的な姿勢があれば、良かったかなと。</p> <p>この重点プロジェクトの中で加えるならば、もっと積極的なイメージを持つ、いきいきとした元気あふれるまちづくりなど、もうちょっと、都市が活性化すると、活気のあるまちになるよという姿勢があったら良いかなという点を感じた所があります。</p> <p>これからは、日本の将来を考えますと、教育と福祉と医療と言いますが、習志野市の場合は、教育がかなり進んでいると思っておりますので、子育て世代が、習志野に住んでみたいというような施策を実施計画の中で、重点プロジェクトの中で、持ってもらえれば嬉しいのではないかなと。</p> <p>テレビなどを見ますと、他市で子育て世代に対する優遇措置、或いは施設、そういうものが非常に恵まれているので、わざわざその都市に住居を移し替える、と言う記事がありました。そういう「習志野で住んだら子育てにはいいわよ」というような若い世代に魅力あるまちづくりを、もうちょっと加えて頂ければ、都市の活性化という意味で、非常にプラスになるのではないかなという印象でございます。</p> <p>その 2 点で、施設の再生の問題、それから財政健全化。これは一体となってやらないといけないと思っておりますが、次に子育て世代の優遇施策と言いますか、そういうものに力を注いで頂ければ、私は嬉しいなと思うのが感想でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>子育てについては、表現としては「協働型社会の構築」に入っていますので、ここで継続していくという事で良いのではないかとも思いますが。</p>
<p>G 委員</p>	<p>そうですね。</p>
<p>会長</p>	<p>もう少し、丁寧であればということですね。ありがとうございました。</p> <p>このあたり、「協働型社会の構築」というようなことで、子育てですとか、先程、C 委員の方から出されました、人材の育成。そういう所をもっと充実させてはという事ですが、F 委員はいかがでしょうか。前回の委員会で、人材の育成や活用の重要性についてのご指摘を頂いていたと思えます</p>

<p>F 委員</p>	<p>が。</p> <p>具体的な事をここで申し上げる事は出来ませんが、考え方として、最初に一つ気になった点をご紹介させて頂きたいと思います。</p> <p>本文の方には、今のような形で出てはいませんが、先程のスライドの説明で、28 番のスライドだったと思いますが、「将来に向かい、安定した社会を形成するための問題として、」で、問題点の一つとして、情報化社会の進展を挙げているのですが、私は必ずしもこれは個人化を進めている原因ではない、むしろ、これを有効に使っていく方向に考えた方が、財政的に見ましても人的に見ましても、かなり有効でないかと思います。</p> <p>特に 12 年後はこの分野はもっと進んで、もっと個人ベースにソーシャルメディアが入り込んでくると思います。と言うのは、お一人暮らしの老人の方とリアルタイムに交信出来て、また、病院とのネットワークも作れるので、これは悪者にはしない方が良いのではないかという感じを受けました。むしろ、積極的に利用したまちづくりをしていくべきだと思います。</p> <p>そういった意味で人材を考えますと、今、一番欠けているのは情報教育です。正しい使い方に対する教育、これは非常に遅れているので、そういう人材を大学等々とタイアップしながら、市としてできれば、かなり有効な手段になってくるのではないかという印象を受けました。</p> <p>ちょっと会長の質問の答えになっていないかと思いますが、私の印象です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。F 委員のお考えの方では、全体像や表現についてはいかがでしょうか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>そういったことについては、今はございません。</p>
<p>会長</p>	<p>G 委員からもお話があったように、12 年間の長い時間で考えると、表現としては漠然としたものも仕方ないのではないかとご意見がありました。</p> <p>他の方々、いかがでしょうか。</p>
<p>O 委員</p>	<p>全体的には、特に意見はないのですが、文章を書くに当たって、色々と各課で話し合っただけで作ったのではないかなと思いますが、もっと自信を持って良いのではないかなと思いますね。</p> <p>例えば、学校施設再生計画検討委員会の議事録を読ませて頂きましたが、習志野市の学校教育は素晴らしいと、そういったことを色々な方が言っています。そういう記述もあって良いのではないかなと思いました。</p>

	<p>これはさっき、G 委員も仰っていたと思うのですが、例えば、習志野市の小学校、中学校というのは学校に非常に特色があると。それぞれの学校に非常に特色があつて、こんな素晴らしい学校はないという評価が結構高いのです。やはり、こういった文章だとなかなか伝わってこないのですが、そういったものもどこかに入れたら良いかなと思います。</p> <p>実は習志野市の小中学校は、2 年前には、正式な名称はわかりませんが、全国の体力測定では第 1 位になったそうです。やはりそういった事もありますので、そういった所を伸ばしていく様な事も必要だと思いますが、そういった自信を持って良いところはきちんと書かないと、誇りだとか、そういった事に繋がっていかないのではないかと考えていますので、職員の皆さん、もっと自信を持って頂ければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>もっともっとアピールしていくような部分があるという事ですね。</p>
<p>〇委員</p>	<p>習志野市の地理的特性だとか、色々書かれています。私も 2 年間に色々な地域に行きましたが、コミュニティ活動が非常に活発な所はものすごく活発です。これがやはり習志野市のまちづくりの下支えをしていると思いますし、そういった事も、やはり自信を持って書けたら良いのではないかと考えています。そういった所から、次のステップへのエネルギーが出てくるのではないかなと思いますので、そういった所も書いて頂ければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>子育てだとか、男女共同参画社会の精神だとか、そういう所に女性の方のご意見やご感想を伺いたいと思いますが、どうでしょうか。</p>
<p>J 委員</p>	<p>はい。感想、ご意見という事ですが、私の感想と言いますか、感じた事を申し述べさせて頂けたらと思っております。</p> <p>まず、基本構想とは、ここに記してありますが、あくまでも市の将来像であるとか、そして、行政経営の理念や方向性を指し示すものです。そういう観点の中から、今回、習志野市の描く、目指す本市の将来像のイメージ、それが何かを考えながら、どういう方向で進んで行こうとしているのか、私は、その辺のイメージについては良くわかりました。</p> <p>スライドの 26、27 番、私はこれを見て、大変感じた事ですが、まず、この 27 頁の「市民一人ひとりが夢と輝きをもって自己実現できる都市（まち）習志野」、これを今日まで目指しながら、頑張ってきたわけですね。</p> <p>その中で「子育て支援策、教育環境の整備、保健福祉施策等、行政全般、多岐にわたり着実に施策展開し、成果を上げてきた。」しかしながら、今後はこれまでの考え方だとか、やり方、そういう部分では成果が、もう今すで</p>

	<p>に上がらなくなっている、そういう中で、次なるステップへとパワーアップしていくために、この「やさしさでつながるまち」、ここがポイントだという、その「やさしさ」という事を追求していく、そういう事なのかなと、私は受け止めました。</p> <p>私も大賛成であり、同じ考えでございます。</p> <p>ただ、私が思う事は、「やさしさ」というのが抽象的なんですね。ここ 10 年前ぐらいですかね、「やさしさ」という言葉が少しずつ出てきたのですが、市民から、この「やさしさ」という言葉がどういう事をイメージしているのか受け止められなくて、大変抽象的だという事を、議員の立場の中で、よく市民の人から言われました。</p> <p>この「やさしさ」という言葉が、ここ数年は当たり前のようになられました、その「やさしさ」という考え方を、市はもう少し市民に対して、どういう事をイメージしているのか説明するべきだと思います。この間も 12 月の定例会で、市長がある議員さんの次期基本構想計画策定の質問をなされた時に、市長は「あくまでも私のこの主体性でやっていく、そして、行政が民間と違うのは、未来永劫、続いているという事である。また、市民の幸せという着眼点を置いていることだ」という、この様なご発言をされておりました。</p> <p>本当に、この市民の幸せ、といった着眼点に立って、「やさしさでつながるまち」という事を市長はお考えになりながら計画を進めている。この様に思うのですが、私がここで伺いたいことは、では、市民の幸せ、「やさしさでつながる」、これは何を考えて、どういうことをイメージしているのかな、何をしようとしているのかなということ。市民が何に困り、何を望んでいるのか、そういう事が理解していないと、これは実現致しません。</p> <p>そのために、行政は何をしていこうとするのか、何が必要であり、何が今足りない、そういう部分を考えているのか。その部分を持ちながらやっていると、私は、この構想というものが、単なる計画で終わってしまうと思うのです。</p> <p>私がおもったことは、まず、習志野市はソーシャルインクルージョンの理念、こういうものを散りばめながら、繋がって行こうという事を考えているのかなと感じ、つまりは今まではどちらかというと、ゼロをプラスにするというイメージがあったと思うのです。</p> <p>それを、マイナスをゼロにまず持っていく。今まで日が当たらなかった弱者に光を当てながら。つまりケースワーク力です。市民一人ひとりに対する、この個々のケースワーク、その視点を持って進めて行くと考えているのかなと、私は受け止めたのですが、それがどのようにして、「やさしさ」という事をイメージしているのか。その部分を、しっかりと今回、再認識をし</p>
--	---

<p>会長</p>	<p>ながら、ともに実現させていきたい、このように思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>基本的な所は理解できるのだけれども、やはり表現のところで、意味している所がちょっと伝わってこない部分があるという事でしょうか。その「やさしさ」というのは、通りは良いのだけれども、逆に意味するところは詰まってしまうような危険性があると。</p> <p>どちらかと言うと、ここで言わんとしているのは、思いやり、自分だけでなく、相手の事をちょっとでも思いやる、そういう姿勢、考え方というのが必要なのではないかというような、私はそのように受け取ったのですが。</p> <p>その辺の事について、J委員のご質問に対するお答えをお願いします。</p>
<p>企画政策部長</p>	<p>私の方から、お話をさせていただきます。今、J委員から、ご指摘、ご質問頂いた件は、市長が議会の中で発言をしている中で、市民の幸せをひとつ着眼点として、市政を進めて行きたいということが、今回の基本構想の「やさしさ」といった部分にどのように繋がっていくのか、そして、その「やさしさ」といったものを実現するために、どのように、具体的に市政を運営していこうとしているのかという事だと思います。</p> <p>まず、「しあわせ」と言うのは、これは地方自治の中で、一つは公共の福祉と言う部分で、地方自治制度の中では、市民の方一人ひとりが幸せである、これは大きな目標であると思います。</p> <p>それと、先程の現基本構想の将来目標でありました「市民一人ひとりが自己実現できるまち」であるという事から、この十数年間の中で、市民の皆様、一人ひとりの様々な自己実現が図られてきた、その中では、ひとつは幸せという充足感、或いは地域の中で活動できるという充足感、人それぞれの部分はありますが、個人個人がそれぞれ幸せという満足感をやはり得られてきたという、これを更に大きく伸ばしていく必要があるだろうと。</p> <p>もっと多くの市民の方に幸せを感じて頂く、そのためには、今まで概ね個々の方々に光を当ててきたという部分を、それが個々の人々が、その「やさしさ」の中でひとつひとつ「つながっていく」、そして、大きな輪にしていく。こういう事を市長が申し上げた中で、その原型は幸せというキーワードであったと、私どもはこの計画を市長とともに、市長の指示に従いまして、組み立てていく中では理解をしているという事でございまして、具体的にどのようにそれを実現していくかというのは、この基本構想に基づく、基本計画、或いは実施計画の中で、個々具体的にまた改めてお示しをしたいと考えております。</p>

J 委員	<p>ありがとうございました。</p>
O 委員	<p>追加ですが、14 頁で、情報化と ICT について記述があります。これは、男女共同参画社会との関連だけで記述されていますが、この情報化と ICT と言うのは、これから色々な場面で活用され、期待されているのではないかなと思うのです。ここで、単独で記述が出ていますが、これはちょっといろいろな場面で出てくる事だと思うので、是非、共同参画社会だけでなく、全てにわたって必要ではないかなと思います。</p>
J 委員	<p>一つだけ。先程はありがとうございました。</p> <p>私は、混沌とした時代でありますし、今後、この「やさしさ」の追求ということは大賛成でございます。「やさしさでつながっていく」、こういうキーワードで、習志野がこれから進めて行く、本当に期待しております。</p> <p>ただ、次なるステップへパワーアップしていく、実現していく、そのためには、やはりどんな素晴らしい構想だとか、計画があつたとしても、それを動かすのは人でございます。その人、職員ですね、市長は、行政は人なりと常々申しておりますが、その部分をしっかりと市長の将来像、実現できるための人づくりですね、そこをしっかりと今後は並行しながらお願いしたいと思っております。</p>
I 委員	<p>この「未来のために やさしさでつながるまち 習志野」、これ様々なご意見が出ておりましたが、これは何を元にしてしているのかと言うバックボーン、これが明確に出てきて、初めてこれが浮き出てくるものだと思います。</p> <p>その表現がどのように出ているのかなと言うのが、ちょっと一つ疑問が出ている事です。</p> <p>この基本構想・基本計画は 12 年間という事ではありますが、行政の市民に対する役割と言うのは、あくまでも、市民の暮らし、生命と財産を守る、ここが基底部であると思います。そうした中で、それをどのようにしてこの基本構想・基本計画の中で生かしていけるのかと、ここをしっかりと定めて、計画を実行して頂きたいというのが、まず一点、要望であります。</p> <p>この 12 年間の基本構想を実行したことによって、12 年後、私達一人ひとりが、これを見た時に、どんなまちになっているのだろうかという事がイメージ出来るか出来ないか、それがまずこの基本構想の重要な事だと思います。</p> <p>それとあともう一つ。人口推計の部分で出ていたと思うのですが、平成 37 年度に関しましては、高齢者人口が増えて、若い子どもの人口が減ってくるという事ではありますが、それをそのまま人口を留めておくのか、それとももっと上げていこうとするのか。その視点によって、この基本構想の案</p>

<p>E 委員</p>	<p>と言うものが、変わってくるのではないかなと思いますので、ちょっとまたそこは検討して頂きたいと思います。</p> <p>この 12 年間の間には、色々な課題が出ていまして、人口もちょっと上がってくると、若い世代も多くなってくる、そして、子どもの数が若干増えるという期間でございます。これをどのように維持していけるのかという視点も必要なかなと思いますので、この人口推計、今、頼んで出した人口推計だけを基にしていくのは難しいかなと思っております。</p> <p>それから、「自立的都市経営の推進」で、この 3 点を挙げているのですが、本市として、この経営という視点の中で、本当に習志野市は住民の方の所得、財源、市税を基にした計画が高いのですが、自立した都市経営をしていくのであれば、産業分野など様々な部分で経済的なものを構築していき、それによって自立経営が出来てくるのではないかと。そのようなまちづくりの視点も私は必要だと思いますので、ここの「公共施設の再生」と「財政健全化」、「協働型社会の構築」、これだけだと自立的都市経営という視点は弱いかなと思いますので、その経済的なものを入れていけるのかと思っております。</p> <p>あとは、子育ての部分ですが、今、縦割り行政になっております。やはり 0 歳から 18 歳まで、子ども全体、一体としてどのようにしてこの基本構想の中で維持して見ていくのかと言う視点が必要かなと思います。この基本構想の中で、しっかりと大きな枠を位置付けて頂きたいと思います。</p> <p>手短に、感想だけ述べさせていただきます。大きな組み立ての中では、私は良くできていると思います。それから、H 委員が仰っていましたが、確かにスローガンですね、これは前回、読みづらい、理解しづらいという事があったので、今回、読み易くしてきているなと言う感覚はすごくあったのですが、確かに「未来のために」という言葉がピンと来なかったというのは事実です。事実ですが、表現としては受け入れやすい表現の仕方だなと思えました。</p> <p>あと、組み立ての方法ですが、私は大変良くできていると思います。これで 3 つに分けてありまして、その下の 3 つの柱ですか、よくできていると思います。「協働型社会の構築」ですか、これに関しても意見がございましたが、どうなのかな、これでも良いのかな、或いは入れ替えても違和感はないのかなと、その位の感覚だと思います。</p> <p>ただ、個々の表現としては、確かにわかりづらいです。これは、私などは委員をしていますから、読もうとして、理解しようとして入りますから、理解が出来ますが、普通の人に果たしてこのまま読めるかなと思うと、難しいかな、或いは表現の仕方が違うかなと感じます。</p>
-------------	--

<p>D 委員</p>	<p>私もこれを見た時に、「未来のために」という言葉が、ちょっと気になって、それで「やさしさでつながる」というのも非常に抽象的過ぎて、もっと具体的に、例えば、「現在いる人たちが笑顔で暮らせる」ような長期的な展望の施策が良いかなと思います。</p> <p>今いる人たちが、笑顔でずっと暮らしていれば、戦争も起きないし、和やかにしていけるのかなと。「やさしさ」というのはあまりに抽象的過ぎて、ちょっとどういう意味に取って良いかわからなくて。「未来のために」というわけでなくて、今いる人たちが幸せに生きなきゃならない、その積み重ねが未来になるわけで、そういった言葉の言い回し方があるかなという感想です。</p>
<p>L 委員</p>	<p>全体的には、私もこのような流れで良いかなという部分は感じました。ただ、今、D 委員さんや E 委員さんが仰っていたように、読もうという努力をしないと、ちょっと読みにくいかなと。</p> <p>もしこれを、冊子にした時、かなりボリュームがあると思います。それで一般の方が、最後まで読んでくれるか。読んでみたいと思えるような、スローガンを、このスローガンが良いか悪いかもあると思いますが、そのように思いました。</p> <p>それから、市の財政に絡むことでは、経営感覚を行政は持て、と我々も言うのですが、習志野市はとにかく文教住宅都市憲章で縛りがきついのですが、産業の誘致が出来るように、そこをちょっともう少し触れて頂くと良いなという事と、さっき G 委員が仰っていましたが、僕が習志野市に越してきたのは昭和 43 年ですが、その頃は、市立幼稚園がいっぱいあって、若い人が、子どもが小学校を出るくらいまでは、習志野市に住んでいると楽だよというような話がありました。時代の変化で子どもたちも減ったし、それと家庭の環境で市立じゃなくて、私立に行く人が増えてたりしています。</p> <p>今、幼保一元化をベースにして、再編成を進めています。それには色々な事を言う人がいるけど、お金のことを考えたら、やっぱりああいうことを考えないといけない。しかし、今一番は幼稚園ではないです。働き手が少なくなる時代だから、女性働くことも必要であるわけですから、そのための保育施設の充実をもっと打ち出すと、若い人が習志野に行ってみるかという気になるのではないかと、その様にさせて頂きたいなと思いました。</p>
<p>C 委員</p>	<p>僕ら審議会は、この基本構想（案）についての諮問を頂いているので、やはり基本構想が出来た冊子に策定委員として名前が載るので、やはり細かな所でも指摘をさせて下さい。</p>

平成 24 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 会議概要

会長	それは、そこの所を文章で渡して頂くわけにはいきませんか。
C 委員	そうすると、会議と言う公開の場で意見が出せないのです。 次回はこういった場はあるのですか、こういった細かな所の話は。
会長	次回もあるのですよね。
企画政策 課長	今後の事を考えますと、最後にご案内しようと思っておりましたが、次回は 3 月中旬に予定をしたいと思います。その先には、パブリックコメントというものを実施していきませんが、更にその先は 4 月の後半に、パブリックコメントが終了した段階で、この審議会を開催させて頂いて、その中で答申案をじっくり揉んで頂こうかなと。答申は 5 月上旬という事で、あと 2 回程、協議頂ける場を準備したいと思っております。
会長	細かい所は、次回に回して頂けると。
C 委員	<p>わかりました。では、大きな所だけ。13 頁の「未来をひらく教育の推進」で、僕が残念だったのは、これからは外国にも行きやすい時代になっていくので、国際人の育成というのが、今後の「未来をひらく教育の推進」の中で、子どもたちには、日本の伝統文化、日本人の偉人、自国の神話といった歴史をしっかりと教える教育をするという事を明記する必要があると思います。</p> <p>また、市長がまちづくりに「やさしさでつながるまち」というのであれば、国際社会で生きる子ども達にとって、今後、宗教教育を理解するという事は、非常に重要だと思いますので、教育の部分でも、ここはしっかりと押さえておくべきではないかなと思います。</p> <p>最後に大きな部分として、世界から見た日本と習志野ということで、エネルギー危機と言う部分の文面がちょっと少ないなと思います。自然保護と、環境保全という部分も少ないし、農業に関する重要性ももう少し記載する事が、重要なのではないかなと思いました。</p> <p>あと、津波と高潮対策ですね、この部分に関しての長期構想と言うのを明記することが市民の安全、安心なまちづくりにつながると思いますので、エネルギーと自然保護、農業、津波、高潮対策に関する文面が弱いなという印象受けました。</p> <p>細かいところは次回、お話ししますが、全体的に練り直した方が良いかなと思います。</p>

平成 24 年度第 2 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>文面に関しては、読みにくいというような指摘が出ていますので、その辺りをご検討頂ければと思います。基本的に、文は短めにしてもらおうと読みやすくなると思います。</p> <p>それでは、次第の「5 その他」として、事務局より、次回以降の開催日程についてご説明お願い致します。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p style="text-align: center;"><u>その他 日程調整など</u></p> <p>日程については再度調整致しまして、ご連絡申し上げたいと思います。冒頭、先程、申し上げましたが、次回 3 月にこのようなご意見、ご提案という時間を 2 時間程開催してまいりたいと思っております。そして、4 月後半にも予定しておりますので、ご承知おき頂ければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、時間を超過してしまいましたが、本日の審議会を閉会致したいと存じますが、ご異議はございませんか。</p> <p><「異議なし」の声あり></p>
<p>会長</p>	<p>それでは、本日の議事は滞りなく終了致しました。ご協力ありがとうございました。本日はこれにて閉会致します。長時間に渡り、大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;"><u>閉 会</u></p> <p>12 : 15 終了</p>